

# 元中だより



元吉原中学校HP

富士市立元吉原中学校  
学校だより 第7号  
令和6年11月27日

## ☆潮音祭大盛況 ～ 元中が沸いた2日間 ～ ☆

10月25日(金)・26日(土)に潮音祭を開催しました。プール跡地の駐車スペースは連日満車状態で、保護者の方々の関心と期待の高さを改めて感じました。今回のスローガン「共創」の言葉通り、生徒会本部役員がリーダーシップを発揮して生徒全員の協力で潮音祭を創り上げました。全力演技・全力応援をした元中生はこの行事を通して、全員の力で大きく成長したと言えます。

今年度の体育の部では、元中生徒会オリジナル競技「だるまさん運び」にPTAチームが加わり、爽やかな親子対決にも注目が集まりました。



また、小中一貫教育の一環として、元吉原小6年生にオンラインで文化の部を鑑賞してもらいました。後日、6年生全員から丁寧な字で書かれた感想文が届きました。

元中生の頑張りをはじめ、多くの方のご支援・ご協力のお陰で今年度も盛大に開催できたことを、この場を借りて感謝申し上げます。

### 潮音祭実行委員長 3年2組 河西さんの感想

潮音祭運営にあたって、全体を客観視するだけではなく、どのような指示ならば全生徒が動きやすいか、自分たちの活動を主観的に見るということが大切だと実感しました。スローガン「共創」のとおり「生徒たちで創る」ということを実現できたと、胸を張って言える潮音祭でした。元中生の皆さん、ありがとうございました。

## ☆縦Mを参観しに市内から集まる ～ 総合的な学習の時間一斉授業研究発表会 ～ ☆

11月6日(水)に「総合的な学習の時間」一斉授業研を行い、市内から多くの先生方が集いました。「福祉」「防災」「食文化」「日本文化」「地域文化」の5つの探究コースで行う、振り返りの様子を参観しました。元中生が探究する内容に加えて、市内では珍しい縦割り活動で行う取組にも感想が寄せられました。協力し合う姿もすばらしいのですが、どのコースでも自然に意見を伝え合える関係性があることや上級生が下級生を自然に導く姿にも感心する声が寄せられました。

### 日本文化探究コース 2年1組 鈴木さんの感想

僕は縦Mの1年間を振り返ると、日本文化について自分たちの課題を探究していくうちに、1～3年生の絆がより深まったと感じました。共に考え、共に活動し、共に楽しい時間を過ごし、素敵な縦割り活動を行うことができました。この素敵な活動を僕たちが引き継いで、来年度は新しい1年生と一緒に、今年度の成果を生かした探究活動をしていきたいです。

将来、就職先では異年齢との関わりや協働作業が多くなるでしょう。元中生にとって、3年間の縦割り活動で培った人間関係づくりの方法が役立つことは間違いありません。この活動で学んだことは、学校内だけでなく卒業後も大きな力となるはずです。

## ☆静岡発信の舞台芸術にひたる ～ 1年生SPAC芸術鑑賞会 ～ ☆



11月11日(月)に1年生が東静岡にてSPAC芸術鑑賞会『イナバとナバホの白兎(しろうさぎ)』を観劇しました。「パリで絶賛!誰でも楽しめる音楽満載の

“おまつり芝居!” いなばの白うさぎの神話は北米にも存在していた!?”のコピーの通り、やや難解な内容にも関わらず、元中1年生は柔軟な感性で受け止め、楽しい時間を過ごしました。

### 1年1組 高木さんの感想

実際に劇を見ると、テレビでは感じられない迫力がありました。舞台が思ったよりも近く、演技がすぐ目の前で行われ、声も音楽も響いて伝わってきました。役者の方たちが、感情を全身で表現している場面がとても印象に残り、独特の世界観が魅力でした。

芸術は、多様な表現方法にあふれています。純粹で柔軟な感性のこの時期に、感性を揺さぶる多くの作品に触れる機会を今後も計画していきます。

☆ PTA古紙回収 12月16日(月)～20日(金)に、ご協力ください! ☆